

# 令和元年度 社会福祉法人小牧福祉会 事業実績報告

## I. 小牧福祉会（本部）の事業報告

### 1. 評議員会

令和元年 6月25日 平成30年度事業実績・収支決算、理事、監事の選任

### 2. 理事会

令和元年 6月10日 理事、監事の選任、苦情等解決第三者委員の選任、評議員選任解任委員の選任、平成30年度の事業実績・収支決算、本庄授産所の空調機器の取り替え、定時評議員会の招集

令和元年 6月25日 理事長の選定、本庄授産所の空調機器の取り替え、施設長の選任、本庄授産所の運営規程の一部改正

令和元年12月 9日 社会福祉法人小牧福祉会職員就業規則の一部改正、評議員（候補者）の推薦、令和元年度収支補正予算、いわぎ授産所（相談支援事業）の指定更新

令和2年 3月16日 社会福祉法人小牧福祉会職員給与規程の一部改正、社会福祉法人小牧福祉会経理規程の一部改正、社会福祉法人小牧福祉会被服貸与規程の廃止、各事業所の運営規程の一部改正、令和元年度収支補正予算、令和2年度事業計画、令和2年度収支予算

### 3. 監事監査

令和元年 5月27日 平成30年度の事業実績・収支決算  
指摘事項 特になし

### 4. 社会福祉法人指導監査（小牧市）

令和元年11月11日 法人本部  
指摘事項 諸書類内での事業名の統一、諸帳簿（寄付金収益明細書）の記載漏れの修正、事業に供する資産の継続的に担保する方法の検討

### 5. 指定障害福祉サービス事業者等実地指導（愛知県）

実施なし

### 6. 会議・委員会

#### 将来検討委員会（年3回）

令和元年 5月22日 グループホーム開設、危機管理、職員研修、財政計画

令和元年 9月25日 グループホーム開設、危機管理、送迎、財政計画、組織改編、中期経営計画の目標達成状況の評価

令和2年 2月28日 中期経営計画の目標達成状況実績報告、グループホーム開設、送迎、財政計画、組織改編

安全衛生委員会（年12回） 施設における安全面や衛生面に関する検討

苦情等解決第三者委員会（年1回）

令和2年 2月 5日 令和元年度の報告

理事長・施設長等会議（年14回）

施設長等・主任会議（年12回）

将来計画合同検討会（年8回）小牧福祉会中期経営計画に基づいた検討

（グループホーム開設、危機管理、送迎、職員研修）

### 7. 研修

令和元年10月 2日 愛知県知的障害者福祉協会総会・管理者セミナー 伊藤 茂 施設長

8. 広報紙

「なかまの“わ”」（年3回 利用者、法人関係、施設関係、近隣自治会等へ配布および回覧）  
発行部数 1,100部

9. その他

令和元年10月30日 愛知県社会福祉大会  
愛知県知事表彰 受章者1名  
愛知県知事感謝 受章者1名  
愛知県社会福祉協議会会長 感謝 受章者1名

令和元年11月19日 小牧市社会福祉大会  
小牧市社会福祉協議会会長 感謝 受章者1名

II. いわざき授産所の事業報告

方針 利用者の意思および人格を尊重し、常に利用者の立場に立った福祉サービスを提供をするよう努めました。また、中期経営計画に基づき、選ばれる施設づくりを目指して、日中活動の場の検討や職員の質の向上等を行い、安定した施設利用に繋げるよう努め、新規利用者の受け入れを働きかけました。

生活介護事業においては、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、介護、療育的活動、創作的活動および生産活動の提供等を行いました。

相談支援においては、障がい者等やその家族の意思、選択に基づいて、サービス利用に係る利用計画を作成し、適切な福祉サービスが提供されるよう支援を行いました。

日中一時支援を必要とする利用者に対し、活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な支援・指導を行い在宅の障がい者等の福祉の向上を図りました。

開所日数 263日

I) いわざき授産所の利用者への支援・指導

1. 日中活動サービス(生活介護)

サービス提供時間 : 9:00~16:00

(1) 利用者

利用(契約)人数(令和2年3月31日現在)

障害福祉サービス事業所 (生活介護:定員40名)													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
生介	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	43	43	526
合計	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	43	43	526

年齢(令和2年3月31日現在)

	~18	18~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~	合計
男	0	0	4	3	11	4	2	24
女	0	0	1	6	8	3	1	19
合計	0	0	5	9	19	7	3	43

障害者総合支援法に基づく障害支援区分(令和2年3月31日現在)

区分	認定無し	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	5	11	3	5	24
女	0	0	0	5	5	5	4	19
合計	0	0	0	10	16	8	9	43

市町村別（令和2年3月31日現在）

小牧市	42名	大口町	0名	扶桑町	1名
-----	-----	-----	----	-----	----

(2) 職員 22名（令和2年3月31日現在）

管理者1名、サービス管理責任者1名、看護職員1名、生活支援員13名、事務員1名、調理員4名、嘱託医師1名

## 2. 支援・指導内容

### 生活介護

#### (1) 生産活動

- ・場の認識や材料の認識など基本的な事柄から、見通しを持って作業を行う姿勢まで、利用者一人ひとりの能力や障がい特性等に配慮し、適した作業環境や作業方法の提供に努めました。
- ・社会貢献や生きがいを感じ、自己実現をしていただけるように支援・指導を行いました。
- ・就労へ向けた支援は、就労希望者等の該当者がなく行いませんでした。

【内容】 縫製、印刷、資源回収、ガス器具部品組立、自動車部品組立、電気設備部品組立  
※主体的に無理をしないで、できること・できそうなことを提供しました。  
※楽しく、生きがいを感じられるように生産活動を提供しました。  
※忙しい作業は、お互いに手伝い合いました。

【時間】 9:30～15:30の間（個々により設定）

#### (2) 日中活動

- ・情緒的安定のために療育的活動や創作的活動などを楽しみながら行うことにより、心身ともに健康な生活が送れるよう支援に努めました。

【内容】 散歩・レクリエーション 等

療育的活動（リトミック・3B体操・音楽療法等）

【時間】 13:00～15:30の間

#### (3) 日常生活・日中活動支援

「豊かな生活」「生活の質の向上」を目指し、社会参加や活動等を通し、生活習慣の確立および日常生活技能の習得を目指した支援・指導を行いました。

- ・利用者のニーズ・課題を把握し、基本的な生活習慣（身辺処理、みだしなみ、食事マナーなどが確立できるように、ごく日常的な事柄から支援・指導をしました。
- ・日常生活に密着した活動・練習（掃除、洗濯、買い物、調理など）を行うことにより個々の興味や関心を広め、生活技能を伸ばし、地域生活（自立、自活）に向かうように支援・指導をしました。
- ・家庭と連携し工賃の有意義な使用により、「生産活動－工賃－楽しみ」が結びつき、生産活動の喜びが生活の潤いとなるように支援・指導をしました。
- ・生活の幅を広げるために、地域のさまざまな社会資源を利用し、支援を行いました。
- ・自己決定（自己選択、自己表現）を行うことにより、自主性を育て、活動や経験が自立に役立つように支援・指導をしました。
- ・対人関係を考慮し、利用者が互いに仲間関係を大切にするように支援・指導をしました。
- ・心身の状況により5日以上連続して利用がない場合、希望者に訪問して状況確認等の支援をしました。

【各活動】 全体活動（ゴミゼロ、いわぎ塾、レクリエーション、体力づくり）

…地域貢献として施設周辺の清掃を行いました。

社会生活などに関して学習する機会を設け、情報提供を行いました。

健康管理、体力の維持・増進のため楽しみながら身体を動かす活動を行いました。

#### グループ活動

…「生産活動－工賃－楽しみ」が結びつくよう買い物や喫茶店など地域の社会資源に出かけ、楽しみました。生活技術の習得のため、調理等さまざまな体験・経験を支援しました。活動内容は、利用者同士の話し合いによって決めました。(自己選択・自己表現)

#### いきいき活動

…自分を表現する場および自分の能力を発見する場(自己選択・自己表現)として活動を行い、本人の興味や関心が広がるよう支援しました。

#### お楽しみ活動

…室内ゲームやカラオケ等、利用者が楽しめる内容を提供し、また、利用者にとって、楽しく過ごす時間になるよう支援しました。

#### そうじの日

…経験を通して身の回りの片づけなどを指導しました。

#### ティータイム

…自己選択やリラックスする時間として飲み物等を用意し、仲間と親睦を深めながら支援しました。

※各活動は、原則として隔週で金曜日の午後および土曜日の午後に行いました。

### 3. 各種会議・職員研修・広報

#### ・会議

職員会議(年12回)	運営・行事の検討、利用者の処遇向上等
ケース会議・個別支援計画会議(年24回)	利用者個々の処遇向上、個別支援計画の作成・見直し・確認等
評価会議(年2回)	利用者の作業姿勢および工賃等
サービス評価会議(年1回)	施設サービスの自己評価
作業部会(年15回)	作業分析から作業工程、就労支援・就労者フォロー
生活部会(年12回)	施設内の生活支援全般、ボランティアの受入等
広報部会(年12回)	いわさきの“わ”、ホームページ等各種PR等

#### ・職種別合同部会

支援スタッフ部会(年各1回)	生活部(施設サービス評価)、広報部(ホームページ、広報紙等)
事務担当者会(年14回)	予算作成、会計運用等
調理担当者会(年0回)	食材による調理方法等 ※必要に応じて電話にて連絡
保健担当者会(年0回)	薬の管理方法、健診のあり方、次年度計画等 ※必要に応じて電話にて連絡

#### ・職員研修

施設外研修	各種団体等の研修会(年16回、延17名) 普通救命講習会(年4回、延4名) 小牧市障害者自立支援協議会(年1回、2名) ・障害者差別解消法
法人内研修	職員合同研修会(年2回) ・研修報告～事例検討～振り返り 出張報告(回覧も随時)
施設内研修	年度末研修会(年1回、21名) ・障害者虐待防止法の理解と対応 出張報告会等(年10回)

資格取得奨励 該当なし  
 自主研修利用 該当なし

- ・広報紙  
 授産所だより（毎月1回 利用者、職員） 発行部数 50部
- ・実行委員会  
 いわさきふれあいまつり実行委員会（年3回）

#### 4. 行事等の活動

月	日	行事等の内容
4	1	開所式
	5	家族会総会
	15	健康診断（やまもとクリニック）
5	1・2	春の大掃除（WAX）
	8～29	1日グループ活動
	13	作業参観（施設内）
	30	レントゲン検診（あいち健康クリニック）
	31	防災訓練
6	3～28	家庭訪問（希望者）及び自宅所在地確認
	7	家族向け講習会
7		
8	20	消防設備点検
9	2	防災訓練
	5	歯科検診
	13	小牧福祉会職員合同研修会（1回目）
10	4	電気設備点検
	12	いわさきふれあいまつり<中止>
	23	インフルエンザ予防接種（やまもとクリニック）
	28～11/27	秋の小旅行
11	1	年賀状印刷受付開始
	3	スポ・レクのつどい（パークアリーナ）
	30	日産労連クリスマスチャリティー公演（市民会館）
12	7	バリアフリーコンサート（味岡市民センター）
	16～28	大掃除
	23	小牧ライオンズクラブ慰問
	28～1/5	年末年始休暇
1	6	仕事はじめ、初詣
	10	新年会
2	3～28	三者懇談会
	14～21	いきいき展（味岡市民センター）
	15	又村あおい氏講演会共催（育成会主催）
	21	小牧福祉会職員合同研修会（2回目）
	26	消防設備点検
3	11	防災訓練
	19	次年度事業説明会<中止>
	31	利用者年度末特別休暇

※個別懇談会（モニタリング）を一人当たり年2回以上実施

※座談会を施設長、主任及び各作業班の支援員代表により年3回実施

※イオン（マックスバリュ） 幸せの黄色いレシートキャンペーン（毎月11日）に参加（7回）

## 5. 参加バザー

期 日	事 業 内 容	期 日	事 業 内 容
5/25～26	こまき産業フェスタ	11/19	小牧市社会福祉大会
7/27	たがた苑まつり	11/16～17	みんなの生活展(いきいきこまき)
8/18	豊寿苑夏祭り	11/30	本庄ふれあいまつり
10/12	いわざきふれあいまつり (中止)	2/15	久保区作品展 (3あい事業)
10/12	野口の郷ふれあい祭り (中止)	年5回	寿学園
10/19～20	福祉展 (小牧市民まつり)	毎月第4木曜日	小牧市老人福祉センター (野口)
11/ 9	岩崎デイサービスセンター秋まつり		

## 6. 実習・体験・見学・交流の受け入れ

	期 日	実 習 等 の 内 容	人数
実習	6/17～28	産業現場実習 (一宮東特別支援学校 高等部)	1名
◎実習	7/22～8/1	介護福祉実習 (古知野高校)	8名
◎実習	8/5～10/11	教員免許特例介護体験 (椋山女学園大学)	8名
体験	8/20～21・21～22	中高生福祉体験学習 (味岡中学校、小牧高校)	2名
研修	10/10	三菱重工業(株) 新入社員研修	6名
実習	10/15～25	産業現場実習 (一宮東特別支援学校 高等部)	1名
◎体験	11/25～12/20	教員免許特例介護体験 (名古屋造形大学)	7名
体験	12/2～4	中学生職業人体験学習 (応時中学校)	3名
体験	1/15～17	中学生職業人体験学習 (味岡中学校)	4名

◎は愛知県の民間社会福祉施設運営費補助金 (施設運営費) の対象事業

## 7. ボランティアの受け入れ

事 業 内 容	人数等	
施設内清掃 (一寸奉仕)	1 団体	15 名
草刈 (ブリヂストン化成品(株))	1 団体	7 名
いきいき活動講師 (音楽)	1 個人	6 回
いきいき活動講師 (芸術)	1 個人	3 回
こだま活動講師 (リトミック)	1 個人	14 回
こだま活動講師 (3B体操)	1 団体	9 回
こだま活動講師 (音楽療法)	1 個人	6 回
日中活動 (作業、活動)	4 個人	年間延250名

## 8. 苦情の受付件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 9. 公益的取り組み

- ・ 近隣への奉仕活動 (ごみゼロ活動)
- ・ 各種実習受け入れ (福祉人材育成等)
- ・ 福祉講演会 (障害福祉サービス情報等)

## 10. 施設整備 (設備整備) 関係

特になし

## II) 計画相談支援

### (1) 内容

障害福祉サービスを利用するすべての障がい者及びその家族の意思や選択に基づき、サービス等利用計画を作成し、適切な福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるようにサービス利用の支援をしました。また、サービス等利用計画が適切であるかモニタリングをし、継続サービス利用の支援も行いました。

### (2) 契約者数 94名 (令和2年3月31日現在)

利用人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
いわざき	16	17	13	12	6	9	7	8	7	7	9	11	118
本庄	10	8	13	5	9	7	6	10	11	11	13	8	107
その他	1	3	5	3	2	1	3	6	2	9	3	1	44
計	32	28	31	20	17	17	16	24	20	23	25	16	269

### (3) 職員 2名 (令和2年3月31日現在)

管理者1名、相談支援専門員1名

## III) 日中一時支援事業 (公益事業)

### (1) 内容

障害者等の家族の就労支援及び日常介護している家族の一時的な負担軽減を図ることを目的に、日中活動の場を確保し、見守り等、支援を行いました。

### (2) 契約者数 30名 (令和2年3月31日現在)

利用人数・日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日中活動	1	0	0	0	2	0	1	2	1	1	1	1	10
タイムケア	3	4	4	11	5	5	6	6	6	6	4	4	64
延日数	23	24	25	37	28	22	31	36	35	32	26	21	340

### (3) 職員 2名 (令和2年3月31日現在)

管理者1名、生活支援員1名

### Ⅲ. 本庄授産所の事業報告

方針 生活介護事業では、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、生活上の支援や療育的・創作的活動および生産活動の提供を行い、必要な支援を行いました。

就労継続支援B型事業では、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供し、福祉的就労、その他の活動の機会を通じて、知識および能力の向上のために必要な支援や指導を行いました。

日中一時支援を必要とする利用者に対し、活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な支援・指導を行い、在宅の障がい者等の福祉の向上を図りました。

多機能型事業所としながらも、行事等においては1事業所として仲間生活を大切に相互に交流を図れるよう支援を行いました。

開所日数 264日

#### 1) 本庄授産所の利用者への支援・指導

##### 1. 日中活動サービス（生活介護および就労継続支援B型）

サービス提供時間 : 9:00~16:00

##### (1) 利用者

利用（契約）人数（令和2年3月31日現在）

障害福祉サービス事業所（生活介護：定員25名、就労継続支援B型：定員15名）													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
生介	25	25	24	24	24	24	24	24	24	23	23	23	287
就労	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	178
合計	40	40	39	39	39	39	39	39	39	38	37	37	465

年齢（令和2年3月31日現在）

	～18	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男	0	1	4	6	11	0	1	23
女	0	0	2	3	6	3	0	14
合計	0	1	6	9	17	3	1	37

障害者総合支援法に基づく障害支援区分（令和2年3月31日現在）

区分	認定無し	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	6	8	7	2	23
女	0	0	2	2	7	1	2	14
合計	0	0	2	8	15	8	4	37

市町村別（令和2年3月31日現在）

小牧市	36名	春日井市	1名
-----	-----	------	----

##### (2) 職員 20名（令和2年3月31日現在）

管理者1名、サービス管理責任者1名、看護職員1名、生活支援員10名、職業指導員2名、目標工賃達成指導員1名、事務員1名、調理員5名、嘱託医師1名

#### 2. 支援・指導

生活介護

##### (1) 生産活動

利用者の能力や精神面での安定を図れるよう考慮しながら、生産活動の提供を行いました。



- 【内容】 受託作業：ガス器具部品の組立・・・(株)小野工業所  
電気設備部品の組立・・・ワールド化成(株)  
自主作業：資源回収
- 【時間】 9：30～15：30 (個人による)

## (2) 日中活動

集団における活動を通して、対人関係を考慮し、利用者がお互いに仲間関係を大切にできるように支援・指導に努めました。

情緒的安定のための療育的な活動や体力の維持増進のための身体を動かす活動等を楽しみながら行うことで、心身の健康づくりを図りました。

- 【内容】 わかば活動／チャレンジ活動：ウォーキング、創作・日常生活に関する活動等  
療育的活動：音楽療法

【時間】 13：00～15：30

## 就労継続支援B型

### (1) 就労支援

「働くことの意味の理解」を目標に、意欲・技術・社会参加等、労働に対する姿勢を利用者のニーズに合わせて支援・指導に努めました。

利用者個人の能力や適性を把握し、工程分析を行うことで利用者個人に適した作業および作業環境や配置を提供し、労働の意欲が高められるよう支援・指導に努めました。

また、社会参加をめざし、施設外就労および一般就労希望の利用者に対して施設外支援を実施しました。

- 【内容】 施設内作業：受託作業：ガス器具部品の組立・・・リンナイ(株)  
ウレタン加工・・・ブリヂストン化成(株)  
電気設備部品の組立・・・ワールド化成(株)

自主作業：縫製、紙工芸、めだか

施設外就労：受託作業：ペットボトル手選別・・・小牧市リサイクルプラザ

【時間】 施設内：9：30～15：30

施設外：9：20～15：50

### (2) 施設外支援

各関係機関と連携し、就労支援（情報交換会への参加）を行いました。

### (3) 就労定着支援

一般就労した利用者に対し就労後の定着、維持ができるよう訪問等の定着支援を行いました。

## 生活介護および就労継続支援B型（共通）

### 日常生活・日中活動支援

「活動を通じた豊かな生活」を目標に、日常生活や各種活動および生産活動を含めた幅広い日中活動を通して、基本的な生活習慣の確立や自立、自活に役立つよう支援・指導に努めました。

- ・ 基本的な生活習慣 ～ 身辺処理、みだしなみ、食事マナー等
  - ・ 意思決定や生活に密着した活動 ～ グループ活動：買い物、調理、喫茶店等
  - ・ 自己表現、新たな能力の発見や情操面での安定 ～ いきいき活動：リトミック、創作活動、体操
  - ・ 生活全般に関わる学習会 ～ 一休さん：夏場に向けての体調管理について  
暮らしの中の身近な税について  
防災について  
令和2年度に向けて変わること
  - ・ 体力の維持、増進を図る活動 ～ 健康体操、ラジオ体操、ウォーキング等
  - ・ 保健・衛生 ～ 手洗い、歯磨き等
- 【月行事】 カウンセリング（嘱託医）、体重測定
- 【年行事】 健康診断（1回）、レントゲン検査、歯科検診、インフルエンザ予防接種
- ・ その他 本人活動：ふれあいの会を通して活動等の内容の企画・検討  
～ 職場旅行でのバスレク、草取りの企画等

### 3. 各種会議・職員研修・広報

#### ・会議

- 職員会議（年21回） 運営・行事の検討、利用者の処遇向上等
- ケース会議・個別支援計画会議（年24回）  
利用者個々の処遇向上、個別支援計画の作成・見直し・確認等
- 保健・給食会議（随時）健康管理、給食業務改善、嗜好調査等
- 評価会議（年3回） 利用者の作業姿勢および工賃等
- サービス評価会議（年1回） 施設サービスの自己評価
- 作業部会（年9回） 作業分析、就労・実習支援、就労後支援等
- 生活部会（年9回） 施設内の生活支援全般、ボランティア受入等
- 広報部会（年13回） “あつまれ！なかま”、ホームページ等各種PR

#### ・職種別合同部会

- 支援スタッフ部会（年各1回）  
生活部（施設サービス評価）、広報部（ホームページ、広報紙等）
- 事務担当者部会（年14回）  
予算作成、会計運用等
- 調理担当者部会（年0回） 食材による調理方法等  
※必要に応じて電話にて連絡
- 保健担当者部会（年0回） 薬の管理方法、健診のあり方、次年度計画等  
※必要に応じて電話にて連絡

#### ・職員研修

- 施設外研修
  - 各種団体等の研修会（年14回、延15名）
  - 普通救命講習会（年4回、延4名）
  - 小牧市障害者自立支援協議会（年1回、3名）
    - ・障害者差別解消法
- 法人内研修
  - 職員合同研修会（年2回）
    - ・研修報告～事例検討～振り返り
  - 出張報告（回覧も随時）
- 施設内研修
  - 年度末研修会（年1回）
    - ・障害者虐待防止法の理解と対応
  - 出張報告会等（年7回）
- 資格取得奨励 該当なし
- 自主研修利用 強度行動障害（年2回、1名）

#### ・広報紙

授産所だより “はばたき”（毎月1回 利用者、職員） 発行部数 58部

#### ・実行委員会

本庄ふれあいまつり実行委員会（年4回）

### 4. 行事等の活動

月	日	行事等の内容
4	1	入・開所式
	18	保護者会総会
	30～5/2	ワックスがけ
5	16	作業参観・懇談会
	21	作業参観（施設外）
	27	健康診断（しのおか内科クリニック）

5	30	レントゲン検診（愛知健康クリニック）
	31	職場旅行（フライトオブドリーム 他）
6	29	防災訓練
7	4	保護者向け講習会
	24～30	家庭訪問（自宅所在地確認）
8	23	消防設備点検
	29	歯科検診
9	2	防災訓練（あいちシェイクアウト訓練に参加）
	13	防災訓練、小牧福祉会職員合同研修会（1回目）
10	3～31	1日グループ活動
	28	インフルエンザ予防接種（しのおか内科クリニック）
11	3	スポ・レクのつどい（パークアリーナ）
	30	本庄ふれあいまつり
12	7	バリアフリーコンサート（味岡市民センター）
	23	小牧ライオンズクラブ慰問
	16～28	大掃除
	28～1/5	年末年始休暇
1	6	仕事はじめ
	10	新年会
	27	防犯訓練
2	10	電気設備点検
	15	又村あおい氏講演会共催（育成会主催）
	21	小牧福祉会職員合同研修会（2回目）
	26	消防設備点検
3	7	防災訓練
	19	次年度事業説明会＜中止＞
	31	利用者年度末特別休暇

※個別懇談会（モニタリング）を一人当たり年2回以上実施

※イオン（マックスバリュ） 幸せの黄色いレシートキャンペーン（毎月11日）に参加（年7回）

## 5. 参加バザー

期 日	事 業 内 容	期 日	事 業 内 容
5/25～26	こまき産業フェスタ	11/10	本庄区民まつり（3あい事業）
7/27	たがた苑まつり	11/16～17	みんなの生活展（いきいきこまき）
8/3	ポリテクター親子ものづくり・社会体験教室	11/17	ルーテル教会
8/25	さまふえす in 味岡（味岡中）	11/19	小牧市社会福祉大会
10/12	いわざきふれあいまつり（中止）	3/4～10	福祉の店（イオン春日井）
10/12	野口の郷ふれあい祭り（中止）	年22回	セルフ即売会（委託販売含む）
10/19～20	福祉展（小牧市民まつり）	毎月第3水曜日	小牧市老人福祉センター（野口）
10/27	ほっと・すぼっと（本庄小）		

常設店：武野屋、キャロット

## 6. 実習・体験・見学・交流の受け入れ

	期 日	実 習 等 の 内 容	人 数
体験	6/17～19	福祉・介護の職場体験	1名
実習	7/1～7/5	産業現場実習（春日台特別支援学校 中学部）	3名
体験	7/22～8/14	夏期高校生ボランティア活動（誉高校、小牧特別支援学校）	3名
体験	7/25～8/14	中高生福祉体験学習（味岡中学校）	3名
◎体験	9/2～12/21	教員免許特例介護体験（名古屋学院大学）	10名
研修	10/11	三菱重工業(株) 新入社員研修	6名

◎実習	2/3～3/2 (3/2～27)	保育士実習（愛知江南短期大学、名古屋短期大学） （受入れ中止：名古屋短期大学、修文大学短期大学部）	7名 (5名)
-----	---------------------	--	------------

◎は、愛知県の民間社会福祉施設運営費補助金（施設運営費）の対象事業

## 7. ボランティアの受け入れ

事業内容	人数等
本庄ふれあいまつり	2団体3個人 8名
スポ・レクのつどい	2団体 3名
施設内清掃（一寸奉仕）	1団体 9名
草刈（ブリヂストン化成品株）	1団体 5名
いきいき活動講師（音楽療法）	1個人 11回
いきいき活動講師（創作）	1個人 9回
いきいき活動講師（リトミック）	1個人 9回
健康体操講師	1個人 9回
日中活動（作業、活動）	10個人 年間延51名

## 8. 苦情の受付件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 9. 公益的取り組み

- ・近隣への奉仕活動（ごみゼロ活動、イエローカード作戦＝犬の糞処理啓蒙活動）
- ・各種実習受け入れ（福祉人材育成等）
- ・福祉講演会（障害福祉サービス情報等）

## 10. 施設整備（設備整備）関係

小牧市障害者福祉施設等整備事業を受け、空調機器の取り替え工事を行いました。

工期 7月1日～8月31日

事業費 総事業費…648万円

小牧市補助金…486万円 自己資金…162万円

## II) 日中一時支援事業（公益事業）

### (1) 内容

障害者等の家族の就労支援および日常介護している家族の一時的な負担軽減を図ることを目的に、日中活動の場を確保し、見守り等、支援を行いました。

### (2) 契約者数 30名（令和2年3月31日現在）

利用人数・日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日中活動	1	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	7
タイムケア	4	3	5	3	5	8	9	4	4	4	2	3	54
延日数	6	3	10	3	10	10	14	8	4	5	4	3	80

### (3) 職員 4名（令和2年3月31日現在）

管理者1名、生活支援員3名

## IV. 新町ホームきぼうの事業報告

方針 入居者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、身体および精神の状況に応じて支援を行いました。また、日常生活における入浴、排せつ又は食事の介護、相談、その他の援助を入居者の状態に応じて行いました。空室を利用し、自立に向けた共同生活の体験利用も行いました。

### 1) 新町ホームきぼうの入居者への支援・指導

#### 1. 指定共同生活援助

##### (1) 入居者

利用（契約）人数（令和2年3月31日現在）

		指定共同生活援助 (定員6名)													
新町 ホーム きぼう	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
	入居数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
	利用日	105	99	102	113	90	100	107	96	103	105	104	100	1224	
	稼働率	58.3	53.2	56.7	60.8	48.4	55.6	57.5	53.3	55.4	56.5	61.9	53.8	55.9	
	体 験 含	入居数	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	5	65
		利用日	105	99	102	113	90	100	127	109	111	115	108	100	1279
稼働率		58.3	53.2	56.7	60.8	48.4	55.6	68.3	60.6	59.7	61.8	64.3	53.8	58.4	

年齢（令和2年3月31日現在）

	～18	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男	0	0	1	1	1	0	1	4
女	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	0	0	1	2	1	0	1	5

障害者総合支援法に基づく障害支援区分（令和2年3月31日現在）

区分	認定無し	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	2	2	0	0	4
女	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	0	0	0	2	3	0	0	5

市町村別（令和2年3月31日現在）

小牧市 5名

##### (2) 職員 23名（令和2年3月31日現在）

管理者1名（兼務）、サービス管理責任者1名（兼務）、世話人5名（兼務）  
生活支援員17名（兼務）

#### 2. 支援・指導

<豊かな生活から自立に向かう>

一人ひとりに応じた、日常生活支援に加えて、生活の中で自主性を育てるとともに、仲間との協調性や責任感を身につけ、精神的な自立に向かえられるよう支援に努めました。地域や家庭との結びつきを大切に、安心・安全な生活の提供に努めました。

##### (1) 日常生活支援

・日常生活面における相談や食事、入浴、排せつ等基本的な生活の介護や支援、調理、買い物、身の整理整頓等への支援を行いました。また、初めての外食をし、楽しい体験をしました。

##### (2) 余暇支援

・集団における活動を通して、対人関係を考慮し、お互いに仲間関係を大切にするよう支援・指導を行いました。

- (3) 健康管理支援
  - ・健康観察を行い、日中活動の事業所や家族との連携を密にし、入居者の体調の変化に迅速な対応に努めました。
- (4) 個別支援計画の作成
  - ・入居者の状況やニーズに応じた適切なサービスを提供するため、アセスメントを実施し個別支援計画を作成しました。作成された支援計画を実施しながら、モニタリングを行いました。
- (5) 災害時への対応
  - ・非常災害対策計画に基づき、安心・安全な生活を送れるよう家族や地域、関係機関との連絡体制を整え、夕食前や夜間に防災訓練を行いました。
- (6) 嗜好調査
  - ・食事等について意見や要望を聞き、楽しみのある献立等に配慮しました。
- (7) 地域との交流
  - ・地域や地域住民の理解促進のために地域自治会に加入し、地域の一員として積極的にあいさつをして交流に努めました。
- (8) 体験利用
  - ・入居を前提とした共同生活援助の体験の場を提供し、自立生活に向けた支援をしました。

### 3. 職員研修

職員の資質向上、専門知識の修得等

- ①外部研修 各種団体等の研修会（年1回、延1名）
- ②研修報告 研修報告の回覧及び伝達
- ③内部研修 日常事例から兼務職員による専従職員へ、直接的な支援・対応の仕方の助言  
専従職員によるケース検討

### 4. 行事等の活動

月	日	行事等の内容
4	3	防災訓練（避難経路の確認）
8	23	消防設備点検
8	26	防災訓練（地震・火災）
12	28～1/5	年末年始帰省
1	30	防災訓練（夜間）
2	20	消防設備点検
3	26	外食（夕食）

※該当者がいる月に誕生会やクリスマス会等を実施

※個別懇談会（モニタリング等）を実施

### 5. 実習・体験・見学・交流の受け入れ

特になし

### 6. ボランティアの受け入れ

特になし

### 7. 苦情の受付件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 8. 公益的な取り組み

特になし

### 9. 施設整備（設備整備）関係

特になし